

1984年の日食観測報告会

山口正博

1984年は5月30日にアメリカ東南部で金環日食(継続時間は最小11秒で皆既日食に近い)、11月22~23日にニューギニアから南太平洋にかけて皆既日食(継続時間は最大2分)の2回の日食が起った。この前年の1983年6月11日のインドネシア・ニューギニアの皆既日食(継続時間は最大5分10秒)には日本から約1000人ほどが観測に行った。これに比べて1984年の2回の日食は合計しても200人ほどが観測に行っただけで人数は少なかったがそれぞれ貴重な観測データを持ち帰った。この2回の日食観測報告会が、1985年4月7日(日)の13時~17時に、東京都新宿区西新宿1-24-2の工学院大学557号教室で行なわれ、約120人が参加して、盛会であった。

次に、観測および研究発表の概要を記す。

- 【1】 5月30日の金環日食 大越 治
- 【2】 11月22~23日の皆既日食
 - (1) ニューギニア 大越 治
 - (2) ニューカレドニア沖 森 友和
- 【3】 ダイヤモンド・リングのシュミレーションについて 塩田和生
- 【4】 1985年5月20日の部分日食の予報 遠山御幸
- 【5】 11月23日の皆既日食のニューカレドニア沖の船上における観測 小池田洋子
- 【6】 5月30日の金環日食のスライド 吉村公一
- 【7】 11月23日の皆既日食(ニューカレドニア)のスライド 秦 茂
- 【8】 日食観測旅行について 木村精二

以上の各氏の観測および研究の報告があった。参加された各氏に厚く御礼を申しあげる次第である。